

VOISTAGE マルチメディアカード基本ソフトウェア

リリースノート

Ver7.00.09.00

NTTデータ先端技術(株) 2009/9/03

1. 変更内容一覧

以下のプログラムの不具合修正および仕様変更を行いました。

Ver7.00.09.00 2009.09.03

- ・ FAX 送信処理にて CTC(フォールダウン通知)信号送信後、MPS(ポストメッセージ)応答受信待ち状態にて、CTR(フォールダウン応答),CRP(命令再送要求),DCN(回線切断信号)以外の応答信号を受信した場合にコアサービスがタイムアウトするまでに約1時間後かかる不具合への対処。
- ・ INS ネット 64 回線及び INS ネット 1500 回線において、チャンネルリセット(論理チャンネルリセット)を行っても保留状態をリセットすることができない不具合への対処。

Ver7.00.08.03 2009.08.19

- ・ Version 7.00.08.02 において、タッチトーンフラグを1に設定して VoicePlay メソッドを実行した場合、音声再生中にタッチトーン有りの時の戻り値が1になる不具合への対処。

Ver7.00.08.02 2009.08.04

- ・ 『相手先応答検出』の機能がありませんので、StagePalette の回線設定画面から『相手先応答検出』を削除致しました。
- ・ StagePalette の回線設定のカテゴリファイルに、『音声再生方式フラグ』を追加致しました。
音声再生方式フラグを設定した場合、VoicePlay メソッドを連続使用して音声再生する際に音声と音声の間隔を縮める効果があります。
- ・ 音声再生方式フラグを1に設定時、音声再生中に BEEP 音が出力されない不具合への対処。
- ・ タッチトーンフラグを1に設定時、プッシュ信号を連続で受信した場合に、音声を停止できない不具合への対処。
- ・ 非制限デジタル信号受信時、アプリケーションへ RingDetect イベントを通知してしまう不具合への対処。

Ver7.00.08.01 2009.07.13

- ・ 49.7 日間連続運転しているマシンにて、VOISTAGE スクリプトの WAITRING(着信待ち)命令を実行すると、稀に着信がくるまで永久に待ち続けてしまう不具合への対処。

Ver7.00.08.00 2009.06.22

- ・ VS-411MB にて、転送処理中に発信者から切断されるとその後の転送ができなくなる可能性がある不具合への対処。
- ・ 音声再生中に再生音声が聞き取れなくなるほど低減されてしまう不具合への対処。
- ・ 音声再生処理において最後まで再生されず 100ms 程度残して再生が終了する不具合への対処。

Ver7.00.07.00 2009.05.14

- ・ INS ボイスワープのリモートコントロール機能に対応致しました。
リモートコントロールへのダイヤル時、「AAA1427」のように先頭に「AAA」を付与することにより、本機能が有効になります。
利用上の注意点を以下に示します。
 - * 「AlertNotice」イベントが網の仕様により省略されますので、AP への通知がありません。

- * アナウンス中の信号送出タイミングは、AP 側での制御をお願いいたします。
- * アナウンス終了後は、切断「OnHook」が必要になりますので、AP にてお願いいたします。
- ・ FAXに関する以下の修正を行いました。
 - * SG3 FAX 受信 切断命令受信待ちで無効データを受けると、切断命令受けずに終了すること不具合への対処
 - * G3 FAX 受信時、EOP 再送受信時に、MCF を二重に応答してしまう不具合への対処
 - * G3 FAX 受信時、EOM 再送受信時に応答後の次の命令受信 (EOM 再送) に失敗する不具合への対処
 - * HDLC 制御フレーム受信で FCS エラー検知ができない不具合への対処
 - * G3 FAX 受信時、ページ間ネゴで DIS 送信に対して送信側無応答の場合、T1 タイムアウトしない不具合への対処
 - * G3 FAX 送信時、ECM 未使用時に RTC 送出が規格と異なる不具合への対処 (規格では EOL 6 個送出となっているところを 5 個しか送出していなかった)
- ・ FAXに関する以下の仕様変更を行いました。
 - * FAX 通信時、エコーが誘発要因となって高速キャリアによる画像データ受信障害の改善策として、V21 信号検出抑止時間を 200 ミリ秒から 500 ミリ秒に変更致しました。

Ver7.00.06.00 2009.05.13

- ・ Ver7.00.05.00 を使用して、再生音声の終了間際に DTMF 入力すると、稀に Core Service が停止する不具合への対処
- ・ TTS (テキスト音声合成) で初期化と終了をおこなうたびにハンドルリークが生じる不具合への対処

Ver7.00.05.00 2009.03.05

- ・ VS-411MB にて、転送処理中に発信者から転送をキャンセルされるとその後の転送ができなくなる不具合への対処
- ・ VS-412MB / VS-411MB にて、FAX の通信関連のパラメータを変更できない不具合への対処
- ・ VS-411MB にて、音声再生中の最後約 4 秒間でプッシュ選択を行っても、音声を最後まで再生してしまう不具合への対処

Ver7.00.04.00 2009.01.29

- ・ Ver7.00SP2Patch17 で使用していたマルチメディアボックス VS-411MB VS-412MB をそのままの状態 Ver7.00.03.00 ~ Ver7.00.03.03 にバージョンアップすると回線制御ファームウェアと音声制御ファームウェアの不正な組み合わせとなることがあり、音声再生や FAX 送受信ができなくなることもある不具合の解消。

Ver7.00.03.03 2008.12.24 (限定リリース)

- ・ VS-4601MC-S と組み合わせて使用する FAX リソース 23 回線カードのインストールサポートの追加。

Ver7.00.03.02 2008.12.10

- ・ UPDATE.BAT でバージョンアップをおこなった場合に、まれに設定ファイル VOISTAGE.INI と VSPROLOG.INI のインストールパス関連の設定が不正になる現象への対処。

- ・ NTT PBX 用の回線特性データファイル AlphaGX.INI の追加
- ・ カテゴリファイルの新規作成で CALL_DIAL_FLG のデフォルト値が 1(DP)となっていたのを 0(PB)に変更した。
- ・ カテゴリファイルの新規作成で FAX 送受信の圧縮モードの設定値を 0(MH)から 2(MMR EC)に変更した。

Ver7.00.03.01 2008.10.22

- ・ アンインストールなしでバージョンアップができるようにした。
- ・ バージョンアップ対応のため、以下の DLL ファイルのバージョン情報を変更。

StagePlayer0411.dll	5.0.3.0	-->	5.0.3.1
VSFAXSET.EXE	7.0.0.2	-->	7.0.3.1
VSACTX21.ocx	7.0.2.5	-->	7.0.3.1
VSCSVTOL.exe	7.2.0.11	-->	7.2.3.1
VSENGINE.exe	7.0.2.10	-->	7.0.3.1
VSMS100.DLL	7.0.2.10	-->	7.0.3.1
VSSUPER.EXE	7.0.2.5	-->	7.0.3.1
VSTOOLS.EXE	7.0.0.2	-->	7.0.3.1
VSVOIFAX.DLL	7.0.2.5	-->	7.10.3.1
Vsstgwtr.exe	7.0.0.2	-->	7.0.3.1

Ver7.00.03.00 未リリース

- ・ バージョン表記の変更
旧表記 Ver7010SP3 パッチなし 新表記 Ver7.00.03.00
- ・ VS-412MB または VS-4601-S において、同一物理回線で空きチャンネルがない状態で Dial メソッドを実行し発着信衝突によってエラーとなった場合、戻り値が-2 となるべきが-1 となることがある。

Ver7.00SP2Patch17 2008.06.27

- ・ ダイヤルパルスの認識性能の向上。(ダイヤルパルスに特定パターンのノイズが混入する FAX 機があるための対策)

Ver7.00SP2Patch16 2008.06.11

- ・ VS-411MB において、FAX 送信および FAX 受信がエラーになった以降、該当の VS-411MB 全回線での呼び制御(発着信、切断)、音声制御(音声再生、音声録音)、FAX 制御(FAX 送信、FAX 受信)が全てエラーになることがある。これは特定の FAX 機(*)へ FAX 送受信を繰り返すと発生する。

* 32byte を超える FIF 部分を持つ非標準能力(NSF/NSC/NSS)を返す FAX 機

Ver7.00SP2Patch15 2008.04.10

- ・ VS-411MB での JBIG ファイルの FAX 送信において、JBIG 受信能力のない FAX 機へ送信した場合、MMR/MR/MH で送信することがあり、このとき受信側の画像が白黒反転する。

Ver7.00SP2Patch14 2008.02.27

- ・サイズの異なるページを含むファイルを FAX 送信した場合、ページ間ネゴシエーションが行われず、FAX ファイルの画像が乱れることがある。
- ・VS-411MB において、呼び出し中に、OnHook メソッドを実行した場合、以後発着信できなくなることがある。

Ver7.00SP2Patch13 2008.01.25

- ・以下のいずれかの衝突が発生した場合、RecognVoice メソッドまたは VoicePlay メソッドの実行結果が数十秒間返らないことがある。
 - * 音声認識処理中の MethodCancel メソッドによる停止または認識タイムアウトによる停止と、回線切断が衝突した場合
 - * 音声再生処理中の MethodCancel メソッドによる停止と、回線切断または DTMF による停止が衝突した場合

本事象を基に以下の派生事象が発生することがあります。

- * この事象が発生して実行結果が返らない間に次の着信があった場合、着信応答できなくなる。
- * この事象が 8 回発生すると、以後発着信できなくなる。
- * この事象が発生して、音声ファイルを指定した RecognVoice メソッドと VoicePlay メソッドを実行すると、音声再生できなくなることがある。

Ver7.00SP2Patch12 2008.01.08

- ・VS-412MB での ECM ありの FAX 送信において、64 キロバイトちょうどのデータ量となる FAX 画データを、特定 FAX 機(送信側からの PPS-NUL および PPS-MPS、PPS-EOP、PPS-EOM に対して PPR を返し、データ再送後も PPR を返す仕様の FAX 機)に送信した場合、戻り値がエラー(-1)となる。

Ver7.00SP2Patch11 2008.01.08

- ・VS-412MB での ECM ありの FAX 送信において、256 バイトの倍数のデータ量となる FAX 画データを、特定 FAX 機(PPS-EOP、PPS-MPS、PPS-EOM に対して PPR を返す仕様の FAX 機)に送信した場合、戻り値がエラー(-1)となる。

Ver7.00SP2Patch10 2007.12.21

- ・Windows XP SP2 または Windows Server 2003 SP1 上で、StageWriter を終了すると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・VS-4601MC-S において、SIP 内線を設定した場合、コアサービス設定ツールでのカード情報が表示されない。
- ・StagePalette でカテゴリーファイルを作成した場合、上限(11 バイト)を超える長さのファイル名を付与できしまい、その結果、カテゴリーファイルで設定した値が有効とならず、既定値で動作する。
- ・VS-4601MC-S でのひかり電話使用時に、VOISTAGE CoreService を再起動せずに、DTMF を 8751 桁以上受信した場合、該当回線からの音声再生が無音となる。

Ver7.00SP2Patch9 2007.10.09

- ・発着信が衝突した場合、以降の該当チャネルでの発着信がエラーとなることがある。
- ・VS-412MB での FAX 送信において、EOP 送信後に CRP を受信した場合、送信に時間がかかることがある。
- ・VS-411MB での FAX 受信において、自らが送出した V.21 制御信号(CFR・MCF・PPR)のエコーを遅延して受

信することにより、FAX データが受信できず、戻り値がエラー(- 1)になることがある。

本事象は、IP 網等に接続されている FAX 機と通信する場合に発生する。

Ver7.00SP2Patch8 2007.10.03

・VS-412MB での FAX 受信において、自らが送出した V.21 制御信号(CFR・MCF・PPR)のエコーを遅延して受信することにより、FAX データが受信できず、戻り値がエラー(- 1)になることがある。

本事象は、IP 網等に接続されている FAX 機と通信する場合に発生する。

・VS-412MB において、ISDN 網との Link が確立しているにもかかわらず、Link ランプが点灯しない。

Ver7.00SP2Patch7 2007.09.14

・VS-412MB において、i ナンバーによるアプリケーションの振り分け機能が正しく動作しない。

Ver7.00SP2Patch6 2007.09.10

・FAX 登録ツールで 1 ファイル以上の画像が表示されている場合、新たにエクスプローラから FAX ファイルを選択しても自動的に表示できない。

・VOISTAGE スクリプトの IF 命令において、変数および定数の値に 10 桁かつ、2147473647 以下の数値(0000000000~2147473647)を指定して実行すると、アプリケーションがアベンドする。

・VOISTAGE スクリプトの OPENTBL 命令において、カテゴリパラメータ「DB_Create」に 1 を設定し、OPENTBL 命令のパラメータ「DBNAME」に存在しない MDB ファイルを指定して実行しても、MDB ファイルが新規作成されない。

・TifToFax メソッドにおいて、実在しない TIFF ファイルを変換元ファイルに指定した場合、アプリケーションがアベンドする。

・VS-412MB または VS-4601MC-S において、G4-FAX 機などの非制限デジタル通信で着信する毎に、ハンドルが 3 つずつ増加する。

・VoicePlay メソッドにおいて、WAVE ファイルを再生中に、DTMF 入力により停止した場合、本来は VoicePlay メソッドの戻り値が 0 となるべきところが、戻り値がエラー(- 1)になることがある。

・CPU 負荷が高い状態で LinkPlayer メソッドを実行した場合、アプリケーションがアベンドすることがある。

・アプリケーションを終了せずに、LinkPlayer メソッドと Terminate メソッドを繰り返し実行するとメモリリークする。

・CPU 負荷が高い状態で LinkPlayer メソッドを実行した場合、実行結果が返らず、フリーズすることがある。

・StagePlayer 使用時に、同じ回線を使うプロセスの起動を要求した場合、WAITRING 以外の処理中であってもプロセスが起動することがある。

・スクリプトエンジンを、タスクマネージャおよび画面上の × ボタンから終了した場合、アベンドすることがある。

・TextToWav、TextSpeech、TxVoicePlay メソッドにおいて、1500 バイトを超える文字列を指定して実行すると、アプリケーションがアベンドする。

・VS-411MB において、再起動後に不特定の回線が着信不可となることがある。

・VOISTAGE CoreService が応答なし状態の場合、LinkPlayer メソッドの実行結果が、数十分間返らないことがある。

・VS-411MB での FAX 送信において、EOP 送信後に CRP を受信した場合、送信に時間がかかることがある。

・LinkPlayer メソッドがエラーとなった場合、以降の LinkPlayer メソッドも継続してエラーとなることがある。

- ・VS-4601MC-S でのひかり電話使用時に、ダイヤルイン番号によるアプリケーションの振り分け機能が正しく動作しない。
- ・VS-411MB での発着信衝突時に、発信者番号およびダイヤルイン番号が取得できないことがある。
- ・FaxSend メソッドにおいて、送信ファイル名に実在しないファイルを指定して実行すると、アプリケーションがアバンドする。
- ・VS-4601MC-S において、レイヤ1でのメッセージ送信エラーが発生した場合、自己復旧できないことがある。
- ・発着信衝突時に、LineCallSate プロパティの値が更新されず、AnswerCall メソッドを実行しても着信応答できないことがある。
- ・VS-412MB において、再起動後に不特定の回線が着信不可となることがある。
- ・VS-412MB において、レイヤ1でのメッセージ送信エラーが発生した場合、自己復旧できないことがある。
- ・VS-412MB または VS-4601MC-S での着信時に、アプリケーションが 10 秒以内に網に対して応答を返さない場合、発信者に網トーキーが聞こえることがある。
- ・VS-4601MC-S でのひかり電話使用時に、通信中となっている電話番号に着信させてもビジーにならない。
- ・VS-4601MC-S でのひかり電話使用時に、音声認識機能のバージョンが動作しない。
- ・VS-411MB または VS-412MB において、USB エラーが発生した場合、イベントログに出力されるログのレベルが ERROR(エラー)となっていない。
- ・VS-4601MC-S において、ファームウェアの書換えを行うと、コアサービスが起動できないことがある。

Ver7.00SP2Patch5 未リリース

リリースなし。

Ver7.00SP2Patch4 2007.06.06

- ・VS-411MB または VS-412MB より複数ページを FAX 送信した場合、圧縮モード(符号化)が変更されていないにも関わらず、ページ間ネゴシエーションを行ってしまう。(フェーズDの後にフェーズCへ戻るべきところが、フェーズDからフェーズBへ遷移する)
- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 受信において、特定 FAX 機から SuperG3 で FAX 送信した場合、V8 手順 (SuperG3 通信を開始するための手順) 中に相手応答なしで、通信エラーになることがある。

Ver7.00SP2Patch3 2007.05.02

- ・Getsetupinfo メソッドにおいて、G4-FAX 機などの非制限デジタル通信で着信した直後に、発信者番号が非通知の着信があった場合、前回着信時の発信者番号が取得されることがある。

Ver7.00SP2Patch2 2007.04.26

- ・TifToFax メソッドにおいて、モトローラ形式かつ 3 ページ以上の TIFF ファイルを変換元ファイルに指定した場合、戻り値がエラー (- 1)となり、TIFF ファイルを FAX ファイルに変換できない。
- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 送信において、モトローラ形式かつ 3 ページ以上の TIFF ファイルを送信ファイルに指定した場合、FaxSend メソッドの戻り値がエラー (- 1)となり、FAX 送信できない。
- ・トーン送出レベル(Beep 音の音量)を、VS-402MC および VS-403MC と同等となる以下の初期値に変更した。
アナログ:+14dB、デジタル:+8dB

- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 送信において、1 ページの TIFF ファイルを送信した場合、または 2 ページ以上の TIFF ファイル、FAX ファイルを FAX 送信中に途中終了した場合、¥VOISTAGE¥TEMP フォルダにワークファイルが残ることがある。

Ver7.00SP2Patch1 2007.04.12

- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 送信において、FAX 通信プロトコル上で、NSF 等オプションフレームに続いて DIS を受信した場合、正常に FAX 送信が終了しているにも関わらず、FaxSend メソッドがエラーになる。(FAX 途中終了理由:51)
- ・VS-411MB または VS-412MB での着信において、前回通信時に FAX 送信の開始と同時に相手から切断された場合、以降の着信に応答できないことがある。
- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 送信において、FAX モデムで復旧可能なエラーが発生した場合、正常に FAX 送信が終了しているにも関わらず、FaxSend メソッドがエラーになる。
- ・FAX 受信において、FAX_RECV_LIMIT_PAGES (FAX 受信ページ制限) と同ページ数受信すると、最終ページ受信時にエラーとなる。
- ・FAX 受信において、FAX_RECV_LIMIT_PAGES (FAX 受信ページ制限) が設定され、それを超えるページ数を送信されたとき、指定ページ数の受信が完了した時点で切断処理を行なうが、このとき受信応答 (MCF 送信) をせずに切断することがある。そのため送信側で送信失敗となる場合があり、送信完了枚数が一定にならない。

Ver7.00SP2 2007.03.19

Ver7.00SP1Patch3 2007.03.02

- ・規格では CFR-PIX 間の時間が 75ms 以上のところ 35ms 程度の間隔しかない特定 FAX 機(*)から、ECM なしで FAX 受信した場合、受信した画像が乱れることがある。
 - * シャープ AR320、コニカミノルタ(旧ミノルタ)MF-451
- ・VS-411MB、または、VS-412MB で、G4 (非制限デジタル) で FAX 送信された場合、FAX 受信に失敗する。
- ・VoicePlay メソッド実行時、システムのメモリ不足等によって音声データ用のメモリ確保ができなかった場合、以降の全回線の VoicePlay メソッドがエラーになることがある。
- ・FAX 送信を行ったとき、相手 FAX 機の完了応答 (MCF) 受信後、続けて相手機から 3 秒以内に回線切断された場合、FAX 送信エラー (相手機側からの途中終了) となる。
- ・StagePlayer 管理下で、動作するプロセス (アプリケーション) の設定が「強制的に回線を取得しない」設定になっているにもかかわらず、新たに同じ回線を使用する別プロセスを起動すると、起動中プロセスが強制終了させて新しいプロセスが起動する。
- ・FAX 登録ツール (VSFAXSET.exe) で、一括変換の画面がでない。
- ・StagePalette で FAX 設定画面上、通信速度で "33600bps" の選択ができない。
- ・音声合成ユーティリティで、「槇、堯、遙、瑤、凜、熙」のいずれかを含む単語を登録できない。
- ・音声再生等以下メソッドのいずれかを非同期で同時実行した場合、その後実行した処理の制御が 2 分間程度戻らないことがある。
 - * VoicePlay、OutDTMF、OutDial、Beep、BeepEx、RecognVoice (音声再生有り)
- ・音声再生等以下メソッドのいずれかを非同期で同時実行した場合、その後別回線の音声が入り込んで流れて

しまうことがある。

* VoicePlay、OutDTMF、OutDial、Beep、BeepEx、RecognVoice(音声再生有り)

- ・VS-412MB、VS-4601MC-Sで、INS プロトコログ出力ありで、着信を行ったときカードサービスがアベンドすることがある。

Ver7.00SP1Patch2 2006.10.16

- ・カテゴリ AUTO_ONHOOK の設定値が 1 または 2 の場合、着信応答(AnswerCall メソッド)と相手切断がほぼ同時に起こったとき、着信または発信ができない状態になることがある。
- ・発信(Dial メソッド)を行い接続直後に相手切断された場合、接続中の切断となるはずが、発信処理中のエラーとなることがある。
- ・着信応答(AnswerCall メソッド) を行い接続直後に相手切断された場合、接続中の切断となるはずが、着信応答処理中のエラーとなることがある。
- ・FAX 送信時、ネゴシエーション結果 (FaxNegoNotice イベント)受信後、すぐに実行結果詳細情報取得 (Sense メソッド)等で送信完了ページ数を取得すると、実際のページ数より 1 つ少ないことがある。
- ・カテゴリ VOICE_PLAYMODE の値が 1 の場合、音声再生中(VoicePlay メソッド)に、回線切断(OnHook メソッド)したあと、発信できない状態になることがある。
- ・FAX 送信中に、ControlNotice イベントが通知されると、その後 FAX 処理のタイムアウトまでの 16 分間、応答しなくなることがある。
- ・インストール後の再起動で、コアサービスが起動後に停止することがある。

Ver7.00SP1Patch1 2006.09.29

- ・FAX 送信を行ったとき、相手 FAX 機の完了応答(MCF)受信後、続けて相手機から 3 秒以内に回線切断された場合、FAX 送信エラー(相手機側からの途中終了)となる。
- ・StagePlayer 管理下で、動作するプロセス(アプリケーション)の設定が「強制的に回線を取得しない」設定になっているにもかかわらず、新たに同じ回線を使用する別プロセスを起動すると、起動中プロセスが強制終了させて新しいプロセスが起動する。

Ver7.00SP1 2006.08.09

Ver7.00Patch2 2006.08.07

- ・スクリプトの WAITRING、および、ActiveX21 の AnswerCall メソッドで、カテゴリの RING_TIME 値が有効にならない。
- ・着信と同時に ActiveX21 の Terminate メソッドを行うと、数分間着信できなくなる場合がある。
- ・音声再生、音声録音、FAX 送信、FAX 受信、ピープ音出力、および、トーン出力いずれかの開始と同時に、切断された場合、「相手切断以外のエラー」が返却される場合がある。
- ・音声再生中、相手切断されるとメモリリークする不具合を修正いたしました。
- ・不正な tif ファイルを ActiveX21 の TifToFax メソッドで変換を行いエラーとなったあと、同名の tif ファイルの変換がすべてエラーになる。
- ・VS-411MB、および、VS-412MB で、PC 再起動後サービスが開始できない場合がある。
- ・VS-412MB で、相手局が ALERT を送信せずに着信応答する場合、発呼が失敗する。

- ・VS-411MB、および、VS-412MB で、通話中に PC を再起動すると呼が開放されない。
- ・VS-411MB、および、VS-412MB で、10pps かつメーク率 40% のパルスを認識できない。
- ・規定の再生レベル、および、録音レベルがそれぞれ変更になります。
再生レベルは、アナログカード: -2dB、デジタルカード: -4dB
録音レベルは、アナログカード: +5dB、デジタルカード: -8dB

Ver7.00Patch1 2006.06.30

- ・FAX 送受信時にエコーキャンセラ機能が OFF とならず、送受信データが正常に送信できない不具合を修正しました。
- ・特定の FAX 機(*1)へ、FAX 送信すると、受信拒否される事象を回避し、送信可能なように対応しました。
*1: ECM あり MMR で FAX 送信するとネゴシエーション時に、T.30 に準拠していない形式 ECM なし MMR で送信を要求する FAX 機
- ・FaxErrPhase プロパティ、FaxErrCode プロパティ、FaxErrSubCode プロパティの値が正しくとれない不具合を修正しました。